



技連協シンボルマーク
(平成6年7月12日制定)

横浜市技能職団体連絡協議会(略称技連協)とは
市内の技能者(職人)の集まりで、昭和43年11月に
結成されました。

横浜市 技連協だより

第62号 令和元年9月1日

発行 横浜市技能職団体連絡協議会 発行責任者 会長 堀内 裕司
事務局 横浜市技能文化会館内 〒231-8575 横浜市中区万代町2-4-7
電話 045-650-5811 F A X 045-650-5862

会長あいさつ

横浜市技能職団体連絡協議会会長 堀内 裕司



堀内裕司会長挨拶

横浜市技連協は昨年度、創立から50年の節目を越えて、本年度新たな一歩をあゆみ始めます。その年がちょうど、新元号に重なり偶然ではありますが、何か運命的で幸運を感じずにはられません。

しかし、現実には技能職にとって、市民の生活様式の変化によって仕事が減少し、経済環境は厳しくなっております。技能職は若い世代にとって、魅力を失い職人の世界に入って来る方が減り、後継者が育たない。ゆえに若者の手による時代に適応する変化が出来ず、さらに経済環境が悪くなるといった悪循環の中にあるの

ではないでしょうか。我々はどうしたらこの負のスパイラルを断ち切って、どこへつなげたら新たな状況が芽吹くのかを、どうか各加盟団体の皆様で今一度議論をして頂きたいと思っております。もちろん技連協といたしましても同様に取り組んでまいります。

今年度は若者の減少に対応するためインターネットを使った「イケてる職人コンテスト」なる新たな事業を展開して、仕事に対する楽しみを増やすと同時に多くの市民に技連協の存在を知ってもらう機会をつくり、技能職が再び若い世代にとって魅力的になり、入ってきた方たちによって若い感覚、感性で新しい生活様式にあった仕事の仕方や、職人そのもののあり方を変えて行く良い循環になるきっかけを作り出せればと考えております。

最後に、令和の時代が技能職の皆様にとってより輝ける時代となることを願ひましてご挨拶とさせていただきます。

令和元年度 横浜市技能職団体連絡協議会 総会

日時：令和元年5月29日（水）午後4時30分～5時50分

場所：横浜市技能文化会館 2階多目的ホール

令和元年度 横浜市技能職団体連絡協議会の総会が開催され、初めに堀内裕司会長より挨拶があり、ご来賓を代表して横浜市経済局長 林 琢己様よりご挨拶を戴きました。

ご来賓 横浜市経済局長 林 琢己様
横浜市経済局市民経済労働部長 江南 真人様

○司会 芦原 将副会長

○出席者確認 代議員定数 120名

出席者 48名 委任状 28名 合計 76名により総会成立

○会則により議長 堀内裕司会長

○議事・報告

- 1、平成30年度事業報告 (荒井務副会長)
- 2、平成30年度収支決算報告 (宮嶋渉会計理事)
- 3、平成30年度会計監査報告 (佐藤總六監事、内田守監事)

質疑応答の後に承認されました。

- 4、令和元年度事業計画（案） (荒井務副会長)
- 5、令和元年度収支予算（案） (宮嶋渉会計理事)

質疑応答の後に承認されました。

6、役員改選

推薦委員会開催に向け、4月24日を期限とし、推選委員への立候補を各団体に依頼いたしましたが、応募結果はゼロでした。推薦委員会（委員長荒井務）において確認し三役常任理事会にご報告いたしました。

三役常任理事会において、役員候補者の選出を行いました。

平成31年4月26日に開催されました第1回理事会において、役員改選案をご承認いただきました。

質疑応答の後に承認されました。

役員改選案は、技連協規則第5条第3項に基づき、理事の中から互選しております。

《新役員》

会長	堀内裕司	※留任
副会長	荒井 務	※留任
	芦原 将	※留任
	宮嶋 渉	※新任
会計理事	中野利彦	※新任
常任理事会	長谷川裕男	※留任
	有賀和彦	※新任
	関 清隆	※新任
	雪野泰弘	※留任
監 事	佐藤總六	※留任
	内田 守	※留任



総会 堀内裕司会長挨拶

7、新理事紹介

各団体理事変更による新理事9名のご紹介

神表装横浜表装インテリア協会	平石 修 様
横浜市管工事協同組合	石田 隆 様
神奈川県印章業組合連合会	大橋和正 様
全日本建築士会神奈川支部	川上善紀 様
神奈川県型枠工事業協同組合	島崎竹志 様
神奈川県和服裁縫協同組合	加藤憲一 様
横浜市写真師会	高野光弘 様
横浜市建設労働組合連合会	菊地正春 様
横浜瓦屋根組合	岡嶋祐三 様

○退任理事感謝状授与

理事退任に伴いご苦勞に感謝し、林文子名誉会長・堀内裕司会長より感謝状が贈呈されました。

横浜市屋外広告美術協同組合	三村嘉延 様
全日本建築士会神奈川支部	藤崎辰徳 様
神表装横浜表装インテリア協会	石川達之 様
神奈川県型枠工事業協同組合	田中秀明 様
神奈川県和服裁縫協同組合	塙 清和 様
横浜市写真師会	中野聖士 様
横浜市管工事協同組合	佐々木靖太 様
横浜瓦屋根組合	堀切洋生 様
神奈川県印章業組合連合会	嶋崎健一 様
横浜市建設労働組合連合会	伊藤 保 様



退任理事感謝状授与

○退会団体

横浜市屋外広告美術協同組合 理事長 三村嘉延 様

○議事進行では質疑応答が数件ありましたが、順調に行われすべて承認され総会を終了しました。引き続き、午後6時20分より交流会が開催され、堀内会長挨拶、来賓川崎市技連協会長山本様の乾杯にて交流会が始まり、66名の会員及び来賓5名が参加し親交を深めました。

青
年
部
だ
よ
り

●青年部からのお知らせ

令和元年度活動事業 途中報告

令和元年

- ・5月22日 …… 技連協青年部 総会
- ・5月29日 …… 技連協 総会
- ・6月25日 …… 定例会 (技能者の夕べ準備)
- ・7月 2日 …… 定例会 (技能者の夕べ準備)
- ・7月 3日 …… 技能まつりのコンテストの会議
- ・7月 9日 …… 定例会 (技能者の夕べ準備)
- ・7月17日 …… 横浜媽祖廟 雷祖会 参列
- ・7月30日 …… 定例会 (技能者の夕べ準備)
- ・8月 …… 暑気払い予定
- ・9月26日 …… 技能者の夕べ

※ 適宜 各委員会、準備会 開催

※ 毎月1回 青年部代表者会議 開催

令和になり無事総会も行う事が出来ました。暑い日が続きますが体調に気を付けて頑張っていこうと思います。

横浜市技能文化会館 夏休み特別企画

匠の小学校



毎年大好評の「匠の小学校」は、今年8月4日（日）に7回目を開講いたしました。今回も技連協会員団体 13 団体が参加しました。毎年参加している子供たちもおり体験者 927 名、来場者は付添家族が多く訪れ約 2,000 名と大盛況でした。

開催日時：8月4日（日） 10：00～16：00

① 全日本建築士会神奈川支部

●木のイスづくり



② 横浜市左官業協同組合

●光るどろだんごづくり



③ 横浜畳組合連合会

●ミニタミづくり/イグサのストラップづくり



④ (公社) 神奈川県塗装協会

●4種のペイント体験



令和元年度 横浜マイスター

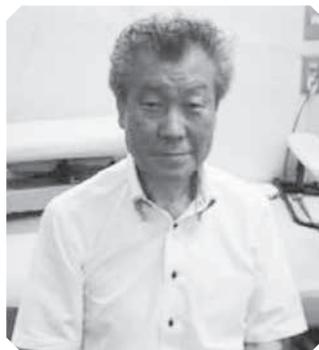
令和元年度、新たな横浜マイスターが選定されました。



島田 和気男さん

調理師（日本料理）

割烹志満八



田中 幸男さん

クリーニング師

富士クリーニング商会



山下 英児さん

調理師（日本料理）

株式会社梅林

⑤ 神奈川県スクリーン・デジタル印刷協同組合
● 3色刷リトートバッグづくり



⑥ 神奈川県洋装組合連合会
● 巾着袋づくり



⑦ 神奈川県和服裁縫協同組合
● おてだま人形づくり/きものひな形づくり



⑧ 横浜市写真師会
● カメラマン体験



⑨ 横浜豆腐商工業協同組合
● カンタンとうふづくり



⑩ (一社) 横浜市鍼灸マッサージ師会
● マッサージ体験 (大人向け) / 親子マッサージ教室



⑪ 神表装横浜表装インテリア協会
● パタパタ屏風づくり



⑫ 横浜市板金組合連合会
● キャラクターレリーフづくり



⑬ 横浜市建設労働組合連合会
● 万能台づくり



横浜の職人の仕事を紹介する
「ハマの職人」(冊子・映像)公開!

横浜市経済局ホームページにて公開していますので、ぜひご覧になってください。

▶ こちらからご覧ください! で

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/ginou/hamanoshokunin.html>

【内容】技能職24職種の仕事内容やその職業に就くための情報を紹介



技連協の行事日程（予定）

◎ 行事予定

◎ 第40回よこはま技能まつり開催

開催日 令和元10月27日（日）午前10時～午後4時

会場 日本大通り

◎ 横浜市技能功労者表彰・優秀技能者表彰の表彰式

開催日 令和元年11月12日（火）

会場 技能文化会館多目的ホール

☆表彰式後、交流会があります

◎ 技連協忘年懇親会

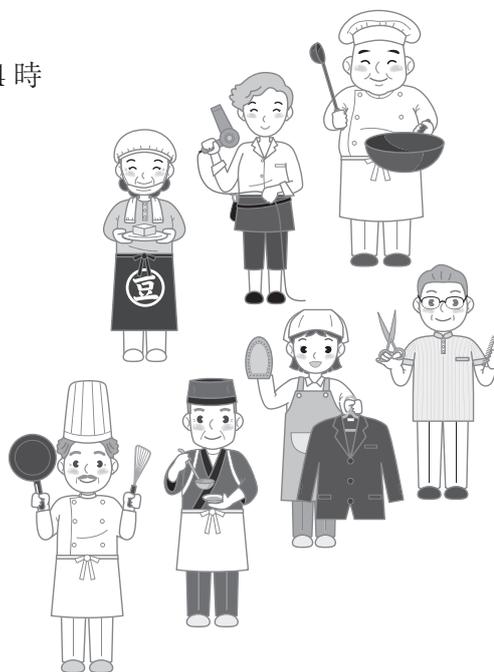
開催日 令和元年12月（中旬予定）

会場 未定

◎ 令和2年新春交流会・研修会

開催日 令和2年2月（予定）

会場 未定



◎ レクリエーション

◎ 加盟団体会員によるボウリング大会

開催日 令和2年3月（予定）

会場 未定

編集後記

近年「2025年問題」を耳にします。2025年問題とは、厚生労働省の統計情報白書によりますと「平成27（2015）年には「ベビーブーム世代」が前期高齢者（65～74歳）に到達し、その10年後（令和7（2025）年）には高齢者人口は（約3,500万人）に達すると推計される。これまでの高齢化の問題は、高齢化の進展の「速さ」の問題であったが、平成27（2015）年以降は、高齢化率の「高さ」（＝高齢者数の多さ）が問題となる。」と有ります。正に私が当事者で危惧するところです。我々業界も高齢化が進んでいます。残暑厳しい日が続いていますが、後進に技能を継承しつつ健康保持に留意し健康寿命を延ばしていきたいものです。

会員皆様方のご意見ご希望を頂き、技連協だよりに反映したいと思えます。技連協事務局まで郵送又はFAXにてお送り下さい。宜しくお願い申し上げます。

